

1 研究主題

学習指導要領の主旨を生かした総合的な学習の時間の授業観の理解を深め、部員の授業力向上を図る。

2 研究の概要

- 授業研修会
- 情報交換

3 研究の実際

- (1) 日 時：平成26年10月24日（金） 13:30～16:30
- (2) 場 所：入広瀬スポーツセンター
- (3) 授業者：魚沼市立入広瀬中学校 渋谷 祐樹 教諭
- (4) 授 業：全校生徒による総合的な学習の時間「弘大寺 鬼面太鼓」
- (5) 協議内容
 - ① 授業校 入広瀬中学校 校長あいさつ
 - ② 授業者からの説明
 - ③ 質疑応答
 - ④ 研究協議会（グループ協議）

授業で気付いたこと付箋紙を一枚ずつ貼っていき、KJ法で整理。
 - ⑤ 各グループごとに発表

4 成果と課題

- 実際の授業を参観したことで、授業のねらい、進め方などを会員が具体的に理解することができた。
- 授業では、地域の文化が生徒に受け入れられ、学校文化として根付いていることを感じさせた。また、学校の総合的な活動の充実が、そのまま生徒にとっても地域にとっても Win × Win の関係をもたらすということを実感できた。
- 授業参観後のグループ討議では、小学校・中学校のグループに分かれて意見の交換を行った。その中で、「地域の教材や人材をどのようにして発掘していくか」、「単に“楽しかった”で終わらせないように、ねらいがどの程度達成されたか把握する方法や子どもの変容の見取りの仕方をどうするか」、「活動への意欲付けや維持の仕方」、「時数が足りなくなりがちであるので他教科とどのように関連させて進めるか」、「具体的な活動を生き方学習に最終的にどのようにつなげていったらよいか」など、多くの悩みや課題を共有することができた。



